

2012年7月10日

<報道関係各位>

ビジネス ソフトウェア アライアンス(BSA)

## BSA メンバー企業、福岡県所在の広告制作会社と1千5百万円で調停成立

安全で信頼できるデジタル社会の実現を推進するビジネス ソフトウェア アライアンス(本部:米国ワシントン DC、会長:ロバート・ハリマン、以下 BSA)は、BSA メンバー企業であるアドビ システムズ インコーポレーテッド(以下アドビ)と福岡県所在の広告制作会社(以下 A 社)との間でビジネスソフトウェアの著作権侵害に関し、2012年6月12日に福岡簡易裁判所において15,455,100円で調停が成立したことを発表しました。

本事案は、BSA が開設する「情報提供窓口」に提供された組織内不正コピーに関する詳細な情報を端緒に、権利者であるアドビが代理人を通じて不正コピーの存否を確認するため、A 社に対し社内調査を求めているもので、代理人の調査依頼、およびその後の複数回に渡る回答催促に対しても、A 社からは何の回答も得られなかったため、2011年7月27日付で福岡簡易裁判所に調停を申し立てていました。

### 情報提供窓口

<http://www.bsa.or.jp/report/>

BSA 日本担当共同事務局長の竹下千恵は、「2011年における日本国内のソフトウェア違法コピー率は21%<sup>\*</sup>でした。これはインストールしたソフトウェアの5つに1つが、不正コピーであったことを示すものであり、その損害額は世界ワースト10位の約1,500億円に上りました。組織内における不正コピー問題はまだまだ予断を許さない状態であり、ソフトウェアライセンスを適切に管理できていない企業も未だに多く存在しているのが現実なのです。世界に先駆け、企業には不正を決して許さない強い遵法意識をもつことが今求められているのではないのでしょうか」と述べています。

BSA はソフトウェア資産管理(SAM)の普及啓発活動を目的とし「C-SAM ポータル([www.bsa.or.jp/csamportal/](http://www.bsa.or.jp/csamportal/))」、「P-SAM ポータル([www.bsa.or.jp/psamportal/](http://www.bsa.or.jp/psamportal/))」等の Web コンテンツを開設と同時に、正規ユーザーの保護ならびに不正コピー(著作権侵害、不正インストール、超過ライセンス利用を含む)の利用を強いられている方々の環境改善を支援するために「違法告発.com([www.145982.com](http://www.145982.com))」や「情報提供窓口(<http://www.bsa.or.jp/report/>)」を開設しています。

### 【組織内の不正コピーについて】

企業や学校、病院など複数のコンピュータでソフトウェアを使う組織内における不正コピーのことを指しています。現在日本でもっとも多く見られるソフトウェアの不正コピーの形態でもあります。例えば、1台のコンピュータでのみ使用することが許諾されたソフトウェアのパッケージを入手し、複数のコンピュータにインストールするような場合がこれに該当します。

### 【違法告発.com について】

「違法告発.com」([www.145982.com](http://www.145982.com))は、組織内の不正コピーの実態と情報提供の安全性等を広く訴求することを目的としたマイクロサイトです。過去の通報案件をヒントに組織内における不正コピー

<sup>\*</sup> BSA 世界ソフトウェア違法コピー調査 2011  
<http://www.bsa.or.jp/GlobalSoftwarePiracyStudy.html>

の手口を読み切り漫画で紹介する「違法コピーのある風景」、BSA 日本担当顧問が情報提供の安全性やポイントをお答えする「BSA への情報提供が安心な 4 つの理由」、不正コピーの通報経験者へのアンケートを基に、通報から不正コピー利用状態の改善までの貴重な体験談まとめた「私が決断した理由」の、3 つのコンテンツで構成されています。

#### 【「C-SAM ポータル」、「P-SAM ポータル」について】

BSA がソフトウェア資産管理 (SAM) 推進のために開設した SAM 情報ポータルサイトで、民間企業向けを「C-SAM ポータル ([www.bsa.or.jp/csamportal/](http://www.bsa.or.jp/csamportal/))」、公共機関向けを「P-SAM ポータル ([www.bsa.or.jp/psamportal/](http://www.bsa.or.jp/psamportal/))」としています。どちらも、1)ドキュメント・ライブラリ、2)SAM 構築支援会社の紹介、3)講師紹介受付、という 3 つの SAM 支援メニューで構成されており、SAM の理解に役立つだけでなく、担当の方がすぐにでも着手できるよう、構築手順書や規程、記録、基本台帳等といった SAM 運用文書・帳票類を無償公開するとともに、SAM の専門家等の紹介も行っているのが特徴です。

#### 【BSA について】

ビジネス ソフトウェア アライアンス (BSA) は、ソフトウェア市場の成長とイノベーションのための環境整備を目的に、世界 80 ヶ国で活動している世界最大のソフトウェア業界団体です。今日、ソフトウェアは、世界中の国の経済および社会的発展を推進する上で必要不可欠であり、各国政府およびパートナー企業は、ソフトウェアに関する重要な政策・法的問題について BSA の専門的な意見に関心を寄せています。BSA メンバー企業は、地域経済、より良い雇用の創出、さらに世界中の人々の生産性向上、つながり、安全に役立つ次世代型ソリューション実現に向け、毎年数十億ドルの投資を行っています。

BSA のメンバーには、アドビ システムズ、アジレント・テクノロジー、アンシス、アップル、Aquafold、ARM、オートデスク、ベントレー・システムズ、CNC Software-Mastercam、ダッソー・システムズ・ソリッドワークス・コーポレーション、メンター・グラフィックス、マイクロソフト、Minitab、オルボテック、ピツニーボウズ、プログレスソフトウェア、クレスト・ソフトウェア、ロゼッタストーン、シーメンス PLM ソフトウェア、サイバース、シマンテック、テクラおよび The MathWorks が加盟し、活動を行っています。詳しくは、BSA 日本のウェブサイト ([www.bsa.or.jp](http://www.bsa.or.jp))、または、BSA 米国本部のウェブサイト ([www.bsa.org/usa](http://www.bsa.org/usa) : 英語) をご覧ください。

#### 【掲載時の読者のお問合せ先】

ビジネス ソフトウェア アライアンス (BSA) : [www.bsa.or.jp](http://www.bsa.or.jp)  
違法告発.com : [www.145982.com](http://www.145982.com)

#### 【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】

BSA 日本 PR 事務局 (MSL JAPAN 内)  
担当: 西田、竹内  
TEL: 03-5719-8917 Email: [bsa.jp@msljapan.com](mailto:bsa.jp@msljapan.com)